

令和5年度 年間授業計画

教科：数学 科目：数学A 単位数：2

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	新編 数学A (数研出版)
	補助教材：	SUKEN NOTEBOOK 基本と演習テーマ 数学I+A 完成ノート (数研出版)

教科（ 数学 ）の目標

【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目（ 数学A ）の目標

【知識及び技能】	図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数				
1 学 期	単元 場合の数	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10				
	知識及び技能	指導事項	知識・技能								
	和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができるようにする。	集合の要素の個数・場合の数・順列・組合せ	和集合や補集合についてその要素の個数を求めることができる。								
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現								
	ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察することができるようにする。	教科書・副教材等	ベン図から集合の要素の個数を考察することができる。								
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度								
	表を作って集合の要素の個数を求める方法に興味を示し、それを活用しようとする態度を育てる。	振り返りシート等	集合の要素の個数を求める方法に興味を示し活用しようとする。								
	定期考査（中間考査）/返却と解説							○	○	○	2
	単元 確率	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。					○	○	○	12
	知識及び技能	指導事項	知識・技能								
積事象、和事象の定義を理解している。確率の性質を理解し、和事象、余事象の確率の求め方ができるようにする。	事象と確率・確率の基本性質・独立な試行と確率・条件付き確率・期待値	確率の性質を理解し、様々な確率の求め方がわかる。									
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現									
集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができるようにする。	教科書・副教材等	独立な試行の確率を、直観的に考えることができる。									
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度									
条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち、積極的に活用しようとする態度を育てる。	振り返りシート等	様々な確率の考えに興味・関心をもち、活用しようとする。									
定期考査（期末考査）/返却と解説			○	○	○	2					

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数	
2 学 期	単元	平面図形	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					
	知識及び技能	指導事項	知識・技能					
	級分の内分・外分、平行線と比などの基本事項を理解している。		三角形の辺と比・外心内心重心・チェバの定理・メネラウスの定理・内接する四角形・円と直線・2つの円	級分の内分・外分、平行線と比などの基本事項を理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
	図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察しようとする。		教科書・副教材等	図形の性質を既習事項を用いて論理的に考察できる。	○	○	○	12
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	三角形の外心・内心・重心に関する性質に興味を示し、積極的に考察しようとする態度を育てる。		振り返りシート等	三角形の3心に関して興味を示し、考察しようとする。				
	定期考査（中間考査）/返却と解説				○	○	○	2
	単元	空間図形	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項	知識・技能					
空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。		直線と平面・空間図形と多面体	空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現						
空間における直線と平面が垂直になるための条件を、与えられた立体に当てはめて考察しようとする。		教科書・副教材等	空間における直線と平面が垂直になるための条件を、考察できる。	○	○	○	11	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度						
三垂線の定理について関心を持ち、その意味を理解しようとする姿勢を育てる。		振り返りシート等	三垂線の定理について関心を持ち、その意味を理解しようとする。					
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○	○	2	

令和5年度 年間授業計画 科目（ 数学 A ）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3 学 期	単元 数学と人間の活動	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	15
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	最大公約数・最小公倍数の意味を理解している。2つの整数が互いに素であるかどうかを判別できるようにする。	約数と倍数・素数と素因数分解・最大公約数と最小公倍数・整数の割り算・ユークリッド互除法・不定方程式・記数法	最大公約数・最小公倍数の意味を理解している。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	整数aを正の整数bで割る割り算を、aとbの間に成り立つ等式としてとらえることができるようにする。	教科書・副教材等	割り算を、2数間で成り立つ等式としてとらえることができる。				
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
長方形を正方形で敷き詰める作業と、互除法の計算とを対応させる考え方に興味・関心をもつ。	振り返りシート等	図形から互除法の計算とを対応させる考え方に興味・関心をもつ。					
定期考査（期末考査）/返却と解説				○	○	○	2
							合計
							70